

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

県内の消費者の買物行動における実態や、買物に際しての意向等を全県的に把握し、各地域における商業振興及びまちづくりを推進する上での基礎資料とする。

2 調査の実施方法

(1) 調査対象

ア 調査対象世帯 県内の公立小学校に通う2年生児童のいる世帯

イ 調査対象地域 県内全域

ウ 調査票の回収率及び世帯抽出率

配布	回収	回収率	総世帯数	世帯抽出率
22,296 枚	20,205 枚	90.6%	2,765,562 世帯	0.73%

資料) 埼玉県推計人口(平成17年7月1日現在)

(2) 調査方法

ア 調査票の配布・回収は、児童の通う小学校を通じて行った。

イ 調査対象世帯は、各校において2学年の中から1学級を任意抽出した。

(3) 調査項目

ア フェイス項目

主に買物をする人の、年齢、有職・無職の別、買物の頻度、主な交通手段、買物の時間帯

イ 主な買物場所(市町村、店)、目的別外出場所(市町村)

ウ 身近に欲しい買物施設、買物施設に欲しい機能・付随施設

エ 通信販売の利用状況

オ 地元商店街の利用状況

(4) 調査実施時期

平成17年7月

3 調査実施における考え方

(1) 市町村合併の扱い

ア 調査実施における市町村の設定

前回調査との比較を容易にするため、旧92市町村の区域を使用した。そのため、調査(平成17年7月)前に合併した市町村については、市町村名に「旧」を付している。

例:(新)飯能市 旧飯能市、旧名栗村

イ 調査後に合併した市町村名の表記

調査後に合併した市町村については、合併前の市町村名とし、「旧」も付していない。

例：(新)鴻巣市 鴻巣市、吹上町、川里町
 (新)ふじみ野市 上福岡市、大井町

埼玉県内における市町村合併の状況 (平成18年3月1日現在)

	合併年月	新市町村名	合併前の市町村名
調査前	平成13年5月	さいたま市	浦和市、大宮市、与野市
	平成17年1月	飯能市	飯能市、名栗村
	平成17年4月	さいたま市 秩父市	さいたま市、岩槻市 秩父市、吉田町、大滝村、荒川村
調査後	平成17年10月	熊谷市	熊谷市、大里町、妻沼町
		春日部市	春日部市、庄和町
		鴻巣市	鴻巣市、吹上町、川里町
		ふじみ野市 小鹿野町	上福岡市、大井町 小鹿野町、両神村
平成18年1月	行田市	行田市、南河原村	
	深谷市	深谷市、岡部町、川本町、花園町	
	神川町 本庄市	神川町、神泉村 本庄市、児玉町	
平成18年2月	ときがわ町	都幾川村、玉川村	

(2) 地区の設定

県内を8つの地区に分けて、集計・分析を行った。調査票の「主な買物場所」の選択肢は、地区内の市町村に、買物先として予想される周辺の市町村を加えて、地区毎に作成した。(前回調査で「その他の県内」の回答が多かった地区を中心に、見直した。)地区の設定は、前回調査と同様である。

なお、この地区の設定は、この広域消費動向調査独自のものであるもので、県がほかで使用しているものとは異なることがある。また、地区の設定は市町村域を単位としているが、鴻巣市のように、合併で地区境と一致しなくなった例もある。

図表1-1「埼玉県地区区分図」(5頁)及び「主な買物場所(市町村)の選択肢」(4頁)参照。

(3) 買物品目(調査品目)

主な買物場所(市町村)は、22の買物品目で調査し、分析は主に「商品総合(全買物品目)」と「商品群(A群~E群の5つ)」で行った。また、外出目的による外出先の違いも尋ねた。

ア 買物品目の変更

【新規品目】	2	調理済み食品	
【統合した品目】	6	紳士服	7 紳士服・紳士洋品雑貨
	7	婦人服	8 婦人服・婦人洋品雑貨
	9	洋品雑貨	

イ 商品群の特徴

(ア) A群(食料品、日用雑貨等)

日常的(頻繁)に、かつ手軽に購入する商品からなっている。そのため、地元での買物志向が最も強い商品群といえる。

(イ) B群(洋服、衣類等)・C群(靴、かばん等)・D群(家具、家電等)

購入に当たって、いくつかの店を見て回り、価格・品質・デザインなどを比較・検討してから購入する商品からなっている。

なお、B群については買物動向を最も典型的に反映しているものと考えて、本調査では、商圈を設定する基準として利用している。

(ウ) E群(文房具、化粧品、スポーツ用品等)

最寄品的な商品と買回品的な商品とで構成される商品群である。

買物品目及び外出目的の一覧

商品群等	買物品目 / 外出目的
A 群 (食料品、日用雑貨等)	1 肉・魚・野菜・果物 2 調理済み食品(総菜、弁当等) 3 一般飲食料品 4 日用・家庭雑貨
B 群 (洋服、衣類等)	5 呉服・帯 6 寝具 7 紳士服・紳士用品雑貨 8 婦人服・婦人用品雑貨 9 子ども服・ベビー服 10 下着・肌着
C 群 (靴、かばん等)	11 靴・履きもの 12 かばん・ハンドバック
D 群 (家具、家電等)	13 家具・インテリア 14 家庭用電化製品 15. 自転車
E 群 (文房具、化粧品、 スポーツ用品等)	16 時計・メガネ・コンタクトレンズ 17 医薬・化粧品 18 書籍・文房具 19 楽器・CD 20 玩具 21 スポーツ用品 22 花木・園芸・生花
外出目的	23 家族で買物を楽しむ場合 24 飲食(外食)を楽しむ場合 25 新しい流行を知る場合

(4) 調査票の主な変更点

ア フェイス項目

- ・ 年齢、有職・無職の別、買物の頻度において、選択肢を整理した。
- ・ 交通手段、買物をする主な時間帯を新たに設けた。

イ 主な買物場所

- ・ 東京都での買物は、「上野・銀座方面」「池袋・新宿・渋谷周辺」「その他の東京都内」の3つをまとめ、「東京都内」とした。

ウ 主な買物場所

- ・ 通信販売など店舗以外の購入を加えた。

エ 身近に欲しい買物施設

- ・ 新たな選択肢を設けた。

オ 通信販売の利用状況、地元商店街の利用状況

- ・ 利用頻度の選択肢を整理した。

主な買物場所（市町村）の選択肢

地区名	当該地区内の市町村	当該地区外の市町村
京浜東北	旧大宮市、旧与野市、旧浦和市、旧岩槻市、 蕨市、川口市、戸田市、鳩ヶ谷市、上尾市、 鴻巣市、北本市、桶川市、蓮田市、吹上町、 白岡町、伊奈町	春日部市、越谷市、草加市、 <u>杉戸町</u> 、 <u>久喜市</u> 、幸手市
		川越市
		熊谷市、行田市
東 部	春日部市、越谷市、草加市、三郷市、 八潮市、吉川市、杉戸町、宮代町、庄和町、 松伏町	久喜市、幸手市
		旧大宮市、旧与野市、 旧浦和市、旧岩槻市、川口市
東 部	加須市、久喜市、羽生市、幸手市、騎西町、 菖蒲町、鷺宮町、栗橋町、北川辺町、 大利根町	<u>春日部市</u> 、 <u>越谷市</u> 、 <u>杉戸町</u>
		旧大宮市、旧浦和市、上尾市、 鴻巣市、北本市、桶川市、 <u>蓮田市</u> 、 <u>吹上町</u> 、 <u>白岡町</u>
		熊谷市、行田市
西 部	川越市、東松山市、朝霞市、志木市、 和光市、新座市、上福岡市、富士見市、 坂戸市、鶴ヶ島市、大井町、三芳町、 吉見町、川島町、滑川町	<u>嵐山町</u> 、 <u>所沢市</u>
		旧大宮市、上尾市、鴻巣市、 桶川市、 <u>北本市</u> 、 <u>吹上町</u>
		熊谷市
西 部	所沢市、入間市、狭山市、旧飯能市、 旧名栗村、日高市、越生町、毛呂山町、 小川町、嵐山町、鳩山町、都幾川村、 東秩父村、玉川村	川越市、東松山市、坂戸市、 <u>鶴ヶ島市</u>
		熊谷市、 <u>深谷市</u> 、 <u>本庄市</u> 、 寄居町
		旧秩父市
		旧大宮市
北 部	熊谷市、深谷市、行田市、妻沼町、寄居町、 岡部町、川本町、江南町、花園町、大里町、 川里町、南河原村	本庄市
		旧大宮市、旧浦和市、 鴻巣市、吹上町
		羽生市、 <u>久喜市</u> 、 <u>加須市</u>
北 部	本庄市、児玉町、上里町、神川町、美里町、 神泉村	川越市、東松山市
		熊谷市、深谷市、寄居町
秩 父	旧秩父市、旧吉田町、旧荒川村、旧大滝村、 小鹿野町、皆野町、長瀬町、横瀬町、 両神村	旧大宮市、旧浦和市
		所沢市、旧飯能市、東松山市
		熊谷市、 <u>本庄市</u> 、 <u>深谷市</u> 、 寄居町、児玉町
		旧大宮市

(注) 下線部分は、新たに調査票に加えた市町村である。

上記のほか、調査票には「その他県内」「都内」「県外」の3つを掲載した。